

# 希望

久留米市立屏水中学校

進路通信 第2号

2020年5月25日(月)

## 先輩たちからのアドバイス



長い臨時休校が終わって学校が再開となり、みなさんと学校生活を送ることができるようになって嬉しく思います。たくさんの不安や心配があると思います。そんな不安や心配に、先生たちもみなさんと一緒に向き合い、一緒に悩んでいきたいと思っています。

さて、先週の登校日に進路に関するビデオを見ましたね。本来は、みなさんが3年生になる前に先輩たちから、受験に向けての話をしてもらう予定でした。遅くなりましたが、先輩たちからのアドバイスをみなさんに伝えることができ良かったと思います。もう一度振り返ってみましょう。



### A先輩

自分が今までやってきたスポーツで進学することができた。1・2年の時には、ちゃんとできないことも多く、先生たちに怒られることもあったけど、「日頃の生活がプレーに出ている」と言われたことをきっかけに変わりたいと思った。高校が決まってからは、自主練をすることだけでなく、宿題や提出物を頑張っている。勉強が苦手でも、夢中に何かをやっていれば、自分に合った進路が選択できる。

### B先輩

高校に行くときに評定で決まってくることもある。推薦の受験資格に2年生の評定がかかわる学校もある。自分が不安だったときに



支えてくれたのは家族。アドバイスをしてくれたり、背中をおしてくれたりした。家族、友だち、先生たちとのつながりを大切に。

### C先輩

「できる」「できない」ではなく、たくさんのことに挑戦して欲しい。何かに挑戦すれば「できた」「できなかった」という経験ができる。たくさんのことに挑戦し、自分の将来の夢に近づけるように。まだ夢がない人は、見つけられるように。自分の長所を見つけ、それをのばして、自己PRポイントにしていく。今から自分の行きたい高校を見つけ、そのためにどれくらい勉強すればいいのかを考えておくと良い。



### D先輩

生活面では、遅刻をしている人は、まずはそれをなおす。たくさんのことに挑戦をして欲しい。自分は挑戦することで、自分に自信がついた。学習面では、家庭学習をがんばったが、基本的な学習だけでは時間がたりない。自分ができないことをできるようにするには時間がかかるし、困難だったので、短い時間でも毎日続けることが大切。絶対にその努力は役に立つときがくる。



### 模擬面接

- 入退室の仕方、座り方、話し方→日頃から心がけると本番で苦勞しなくてすみますね。
- 志望理由→自分の夢、高校に入ってやりたいこと、めざしたいこと、体験入学で感じたことを話してありましたね。
- 自己PR→中学校で頑張ったこと、頑張ってきたことを高校でどう活かしていくか、自分の長所（得意なこと、興味があること）を具体的なエピソードを加えて話してありましたね。

